

平成 ○○ 年度 作物残留試験 試料調製明細書

(試験期間 平成○○年5月～平成○○年9月)

1. 被験物質

- (1) 一般名・剤型 ○○○○粒剤→○○○液剤
- (2) 有効成分名及び含有率 ○○○○粒剤:△△△△△ 2%、□□□ 1% ○○○液剤:○○○ 18%
- (3) 被験物質のLot No. ABC001234

2. 農作物名 水稻

品種名 コシヒカリ

3. 試験実施機関名 ○○県農業研究センター

試験圃場所在地 ○○県○○市○○町○○-○○

4. 試験責任者氏名 ○○○○

水田の場合は記入

5. 土性 砂土 ・ 砂壤土 ・ 壤土 ・ 埴壤土 ・ 埴土 (○を付す) 減水深 1 cm/日

6. 過去1年間に作付した作物及び使用した農薬(別紙としても構いません)

小麦 △△△△△粒剤 5kg/10a、□□□□□乳剤 300mL/10a<水量100L/10a>、

○○○○○水和剤 1,500倍、×××××乳剤 1,000倍

使用した殺虫・殺菌・除草剤について記載

7. 栽培概要

播種期、移植期、施肥の種類・量・時期、樹齢、栽植密度(畝間、株間) 水田/水田/水田/水田/水田/水田、
被覆資材(茶は寒れい(砂番号)、いちご・おうとう等の被覆時期、茶の寒れい(砂)・トンネル栽培の被覆時期を記載する

露地・施設の別 露地 有袋・無袋の別 -

耕起: 4/10 代かき: 5/12

施肥: 5/12 施肥の種類、量: △△△△化成(12-12-10) 30kg/10a

有袋・無袋の別がある作物(果樹など)の場合に記載

播種: 4/24 移植: 5/12

栽植密度: 畦間30cm、株間18cm 機械移植 株数: 約2万株/10a

出穂期: 8/12 登熟期: 8/中～下旬

収穫時期(適期): 成熟期: 9月10日

8. 生育ステージ

試験計画書に指定された生育ステージを記入して下さい。

幼穂形成期: 7/27、出穂期: 8/12、成熟期: 9/10

処理日と作物の生育ステージの関係が分かるよう生育ステージの目安となる時期を記載(果樹や畑作物の場合は開花日など、水稻の場合は出穂期など)

9. 被験物質以外に使用した農薬(別紙としても構いません)

5/12(移植時): ○○○○○○○○○○箱粒剤 50g/箱、5/17: □□□□□□□□乳剤 100mL/10a、

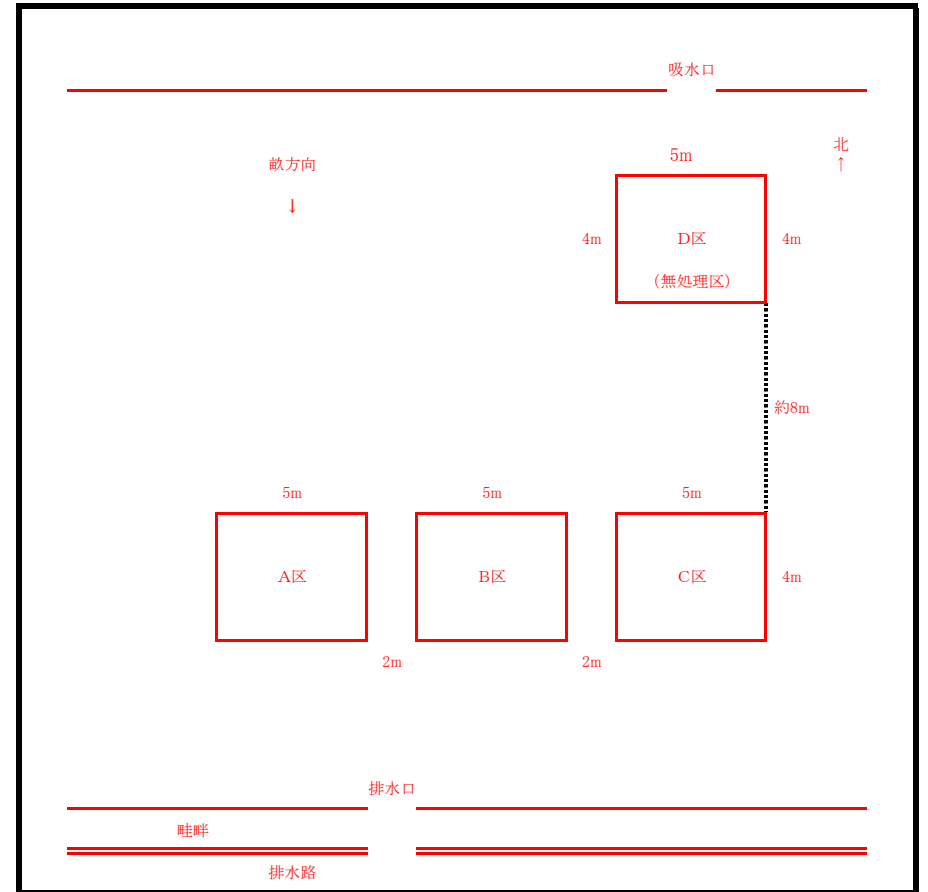
7/28: △△△△△粒剤 3kg/10a

試験薬剤が除草剤であっても、慣行管理で使用した殺菌剤、殺虫剤等も全て記載

10. 試験区

- (1) 1試験区の面積および本(株)数 1区20㎡、株数: 約400株
- (2) 施設の場合、面積・容積・高さ -
- (3) 試験区の配置図(試験区全体および周辺農地等の状況がわかるように記入して下さい。記入できない場合は別紙としても構いません)

- ア) □内に処理区および無処理区の配置関係を作図して下さい。果樹1樹は○で表し、必要に応じて枝の伸長方向記載してください。
- イ) 試験区間および試験区と無処理区との距離を記入して下さい。
- ウ) 圃場の畝方向、方位および圃場の傾斜方向を記入して下さい。水田は給水口および排水口を記入して下さい。



11. 処理方法(下のA~G欄へは該当する処理日に「○」あるいは剤型を記載する)

区分 処理月日	A 区	B 区	C 区	D 区	E 区	F 区	G 区	処理濃度	処 理 量		処理時の生育 ステージ	処理方法(概略)
									10a当	試験区当(農薬量/散布量/面積)		
平成○○年5月27日	○	○	○	無処理				—	1kg/10a	20g/20㎡	移植5日後	湛水散布
平成○○年6月28日			○	無処理				1000倍	100mL/100L	2mL/2000mL/20㎡	移植37日後	全面散布(落水茎葉散布)
平成○○年7月12日		○		無処理				1000倍	100mL/100L	2mL/2000mL/20㎡	幼穂形成期	全面散布(落水茎葉散布)
平成○○年7月27日	○			無処理				1000倍	100mL/100L	2mL/2000mL/20㎡	出穂期	全面散布(落水茎葉散布)

無処理区には無
処理と記入

薬量/水量を
記載

処理時の生育ステージ欄に
は、計画書の表記が「収穫○
日前」になっていても「収穫○
日前」ではなく、作物の生育
ステージを記載する

畑作物等で作物に薬
液がかからないよう
畦間や通路に散布し
た場合は、そのことが
わかるよう「畦間散
布」などと記載する

区分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時の使用器具(機械)、樹幹塗布、湛水処理時の水管理 土壌混和時の深度、土壌水分、種子消毒時の水温・液肥等	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況 特に降雨の有無と降雨時間、処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する
平成○○年5月27日	手まき、処理時の湛水深:5cm、処理後7日間試験区の水が外に出ないように管理した		処理時刻:10時30分、天候:晴れ、処理日に降雨なし、風の影響なし
平成○○年6月28日	使用器具:CO ₂ 加圧式噴霧器(圧力0.2MPa)、ノズル:TeeJet8002VS、作物にもかかるよう試験区全体に均一散布		処理時刻:10時、天候:くもり、処理日に降雨なし、処理時の風:東の風、風速2m程度、風の影響なし
平成○○年7月12日	使用器具:CO ₂ 加圧式噴霧器(圧力0.2MPa)、ノズル:TeeJet8002VS、作物にもかかるよう試験区全体に均一散布		処理時刻:10時、天候:くもり、処理後に降雨あり 降雨時間:15:00~21:00、処理時の風:北の風、風速2m程度、降雨、風の影響なし
平成○○年7月27日	使用器具:CO ₂ 加圧式噴霧器(圧力0.2MPa)、ノズル:TeeJet8002VS、作物にもかかるよう試験区全体に均一散布		処理時刻:14時、天候:晴れ、処理日に降雨あり 降雨時間:前日夜~7:00、処理時の風:ほとんどなし、処理時に水稻の茎葉は乾いていたため降雨の影響なし、風の影響なし

注1:畑作物等で畦間散布をした場合は、「作物に薬液がかからないよう畦間に散布した」などと記載する。逆に作物にかかるように散布した場合は、その旨記載する。
注2:散布器具を用いた場合は、散布器具の種類、ノズルの種類等を記載する。
注3:畦間散布は、試験区面積相当量の全量を畦間(または通路)に散布する。

(1)展着剤 使用した区番号 A区、B区、C区 展着剤名 クサリノー 濃度または量 1000倍 (○○液剤散布時に加用)

(2)備考

.....

.....

.....

12. 試料採取(試料番号試料送付時に「送付カード」(別紙様式)に記入したものを記載する)

区分 採取月日	A区 試料番号	B区 試料番号	C区 試料番号	D区 試料番号	E区 試料番号	F区 試料番号	G区 試料番号	試料採取時刻と天候	試料採取順(区番号順)	試料送付量	試料送付月日
平成○○年9月10日	A区	B区	C区	無処理区				採取時刻:10:30、天候:くもり	D→C→B→A	玄米各区 2kg 以上×1 分析 稲わら各区 5束 以上×1 分析	平成○○年10月2日
										各区 以上× 分析	
										各区 以上× 分析	
										各区 以上× 分析	

送付カードに記載した記号を記入

無処理区以降の採取は、最終散布が収穫日から離れている区の順とする。

区分 採取月日	試料送付について(該当項目に○を付し、必要に応じてその原因を記載する)			
平成○○年9月10日	1. 試料の大きさは(やや大きい 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある)	2. 熟期は (やや早い 通常 やや過熟)	3. その他()	4. 原因 8月中～下旬の低温で登熟が遅れたため
	1. 試料の大きさは(やや大きい 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある)	2. 熟期は (やや早い 通常 やや過熟)	3. その他()	4. 原因
	1. 試料の大きさは(やや大きい 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある)	2. 熟期は (やや早い 通常 やや過熟)	3. その他()	4. 原因
	1. 試料の大きさは(やや大きい 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある)	2. 熟期は (やや早い 通常 やや過熟)	3. その他()	4. 原因

「通常」以外に○を付した場合は、その原因について記載

(1) 試料採取方法 使用した器具(機械)、採取方法の詳細、採取後乾燥等のための輸送方法を記載

試料は、試験区ごとに穂のついたイネ株を鎌で地際8cm程度から刈り取り、適当な大きさにまとめた。各試験区の試料が混ざらないように軽トラックに積んで、乾燥場所まで運んだ。雨よけハウス内におだかけをして乾燥させた。

試料採取に使用した道具や器具類について、試料採取方法の詳細を記入

(2) 採取後の調製・梱包方法 試料採取後の加工、水洗い、根等の除去、風乾、乾燥、脱穀・籾すり等の方法、雨後の試料調製方法および試料の梱包方法を記載

おだかけして22日間乾燥させた試料は、無処理区、処理区の順に脱穀機、籾すり機で玄米とわらに分けた。

玄米は試験区ごとに紙袋に入れダンボール箱に詰めて、わらはは各試験区の試料がお互い接触しないよう米袋に梱包し、宅配便で分析機関に送付した。

(3) 試料送付先 分析機関: ▲▲▲□□□□□□□□

(4) 試料の輸送方法 到着日指定、温度指定、輸送会社等 到着日を10月3日に指定し、常温で×××便にて発送した。

冷蔵輸送の場合(収穫物を乾燥し調製する作物以外)は、「到着日を○月○日に指定し、冷蔵(5℃)で×××便で発送した」などと記載する。

(5) 備考

(●●C-N●●●)

気象表

試料調製場所: ○○県農業研究センター

観測地点および試料調製場所 観測地点: アダス○○○○○ (観測地点と試験圃場の直線距離 約4km)

気温:平均気温(1 時間毎)

降水量:日界 24 時

記号: ○:薬剤処理日

(平成○○年)

測定時刻 午前 - 時

△:試料採取日

月	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
5	気温(施設内温度)	16.8	17.6	17.9	19.4	16.3	16.1	17.2	16.2	17.9	21.3	18.3	19.9	19.4	16.2	13.7	16.2	18.4	21.9	19.2	20.4	21.9	21.9	21.3	17.7	17.0	18.4	19.6	17.4	17.5	18.1	17.5	
	降水量	--	--	--	--	5.5	0.5	0	15	0	--	--	0	1	--	--	0	8.5	0	--	--	--	0	0	7.5	3	--	--	9	0	1.5	15	
	薬剤処理/試料採取												代かき	移植																			
	区番号(試料番号)																																
6	気温(施設内温度)	16.8	19.0	21.2	20.2	18.7	19.5	19.9	16.3	19.8	21.3	19.9	21.1	21.2	21.3	21.4	19.1	18.9	18.8	21.3	22.2	20.8	25.2	22.2	23.4	24.6	25.0	22.3	22.9	21.1			
	降水量	2	--	0	0	1.5	6	0	1.5	0	0	13.5	--	--	--	--	0	0	0	--	--	44	2	1.5	12	--	--	--	0	2	6		
	薬剤処理/試料採取																																
	区番号(試料番号)																																
7	気温(施設内温度)	21.4	19.8	21.2	22.1	22.0	22.4	25.6	25.4	26.4	26.9	21.9	23.6	26.3	25.2	27.2	26.7	24.7	25.7	26.7	24.7	21.3	22.5	23.3	26.3	27.2	28.3	26.9	25.8	27.6	26.5	22.6	
	降水量	2.5	6.5	1.5	2	0	9	--	1.5	1	0	--	5.5	0	--	--	0	1.5	0	0	--	3.0	1.5	3.5	0	1	--	10.5	2	0.5	0	0	
	薬剤処理/試料採取																																
	区番号(試料番号)																																
8	気温(施設内温度)	22.8	22.9	24.3	24.4	25.7	25.4	26.8	24.8	25.7	25.8	25.3	24.4	26.0	26.0	24.3	25.1	24.2	24.8	25.1	26.1	26.2	25.6	23.1	22.6	25.9	26.7	21.7	18.5				
	降水量	--	2.0	--	0.5	0.0	0.0	18.0	0.0	0.0	75.0	0.0	--	0.0	0.0	--	--	--	--	--	--	0.0	19.0	0.0	--	0.0	0.0	11.5	50.0				
	薬剤処理/試料採取																																
	区番号(試料番号)																																
9	気温(施設内温度)	23.1	21.2	21.0	21.2	22.5	22.4	22.3	22.8	21.5	20.7	20.7	19.6	22.2	20.3	20.1	21.3	19.4	18.1	19.7	20.2	19.4	20.9	21.7	21.1	20.5	20.5	20.2	21.7	21.2	18.7		
	降水量	--	--	--	0.0	--	--	--	0.0	0.0	--	--	12.5	--	--	0.0	0.5	--	0.0	0.0	--	--	0.0	--	--	--	--	--	0.0	1.0	1.5		
	薬剤処理/試料採取																																
	区番号(試料番号)																																
10	気温(施設内温度)	19.3	20.0	20.8	19.9	17.5	16.9	16.8	20.7	17.4	14.6	14.1	14.2	14.9	14.2	16.1	17.7	16.0	16.3	15.5	15.3	15.9	14.1	15.0	14.7	16.1	14.0	15.2	16.6	16.0			
	降水量	0.0	19.5	4.5	0.0	5.5	14.0	17.0	99.0	--	0.0	--	--	1.0	--	0.0	--	--	--	--	--	--	--	1.0	0.0	60.5	2.5	--	0.0	--	--		
	薬剤処理/試料採取		発送																														
	区番号(試料番号)		A~D																														

主な作業日も記載

処理日は○印と処理区記号

採取日は△印と試料番号

薬剤処理日(ガス抜き等を含む)、試料採取日等を記号で記入する。
また薬剤処理日へは該当する区記号、試料採取日へは該当する試料番号(送付カードと同様の番号)を当該欄へ記入する。